

第9回斜面工学研究小委員会 議事録

日時：平成28年5月6日（金）14：00～17：30

場所：土木学会 D 会議室

出席者（敬称略、順不同）：伊藤、片山、吉川、中村、宇次原、茂木、大野、ハスバートル、中野、櫻井、鈴木、美馬

報告事項

1. 前回議事録の確認

鈴木委員長より、前回委員会の議事録について報告がなされた。

2. 2016 防災展

大野・吉川委員より、H28年3月11～13日に開催された東京都防災展2016出展の成果について報告がなされた。

良かった点：子どもから高齢者まで幅広く来展いただき好評であった。特に、地質を断面にして模型で表現しているところが大変好評であった。

反省点：①東京都防災部より、来場者数は3日間で10万人と報告されているが、当委員会ブースの来展者数は、昨年度と比べて少なかったと推定される（13日においては、200人/日程度）。ブースの設置位置が影響している可能性が高く、次回は、可能であれば場内入口付近が望ましい。②書籍のチラシが途中で足りなくなったので、次回はたくさん用意する。③聴覚障害者に対して、説明が難しかった。今後対応策の検討が必要である。

3. 平成28年度土木学会全国大会研究討論会

鈴木委員長より、地盤工学委員会堤防研究小委員会による「河川堤防の安全性を如何に守るか」と題した研究討論会開催について紹介がなされた。

4. 地盤工学委員会委員リスト

鈴木委員長より、平成28年度の地盤工学委員会委員について報告がなされた。

5. 平成28年度会長特別タスクフォース 現場イノベーションプロジェクト ～次世代に繋ぐ生産現場のあり方～（案）

鈴木委員長より、上記の報告がなされた。

6. 熊本地震への対応、地盤工学委員会地盤・斜面災害調査団（4月23日～24日）

鈴木委員長より、H28年4月23～24日に実施した熊本地震被害の調査内容及び同年4月27日に開催された「熊本地震地震被害調査結果速報会」の発表内容について報告がなされた。また、同年5月2日には、日本学術会議主催の「熊本地震・緊急報告会」が行われ、そのホームページの紹介がなされた。

7. その他

鈴木委員長より、土砂動態学研究小委員会の解散について報告がなされた。

審議事項：

1. 「実験で学ぶ土砂災害」の販売促進

今年の8月頃までに、販売部数1500部を目標とする。販売促進について、下記4点を協議した。

- ① 夏休みを利用し、学校の先生及び子どもに書籍を用いた防災教育を行う。例えば、要点をまとめたスライドで解説する。また、今後先生方が利用できるようpptを提供する。ただし、提供する際は、著作権関連を調べておく必要がある。その他、書籍代を含めた参加費についても検討する。
- ② 防災教育の専門家や教育学部等の大学に宣伝する。
- ③ 小学校に販売する。この場合、学生指導要領に基づいた要点をまとめた資料を添付すると実用的であり、購入に結びつきやすいと考えられる。
- ④ 献本用の書籍が余っているため、委員は販売促進に積極的に活用すること。

2. 熊本地震被害（斜面）現地調査について

平成28年5月下旬～6月初旬に現地調査を行う。詳細な日程は後日連絡する。

3. 次回委員会開催日

平成28年7月7日を予定する。

4. 土木学会誌の執筆

熊本地震の災害調査報告について、土木学会誌への執筆を依頼されている。締め切りは、平成28年5月13日である。執筆者については後日相談する。

5. 話題提供

櫻井委員「平成27年9月関東・東北豪雨における栃木県内の斜面災害」

以上